

# 未来型AI防災チャットボット のご紹介

2019.07.31

株式会社ウェザーニューズ





創業 1986年6月  
上場市場 東証一部 (4825)  
本社 千葉市美浜区  
代表者 草開 千仁  
資本金 17億6百万円  
連結売上高 158億74百万円(2018年5月)  
社員数 914人 (海外含む)  
拠点数 国内11拠点、海外15拠点

## 原点は「船乗りの命を守りたい」

「いたずら台湾坊主、大荒れ」



1970年1月  
福島県小名浜で起きた海難事故  
15名の命が奪われる

# サービス展開

44市場に展開するリスクコミュニケーションサービス

## SEA Planning



## LAND Planning



**B to B :**  
各市場毎に問題解決型対応策支援  
サービスを提供

## SKY Planning



## SPORTS Planning



## LIVING Planning



**B to S :**  
ウェザーニュースタッチを  
代表とした一般サポーター  
へ提供

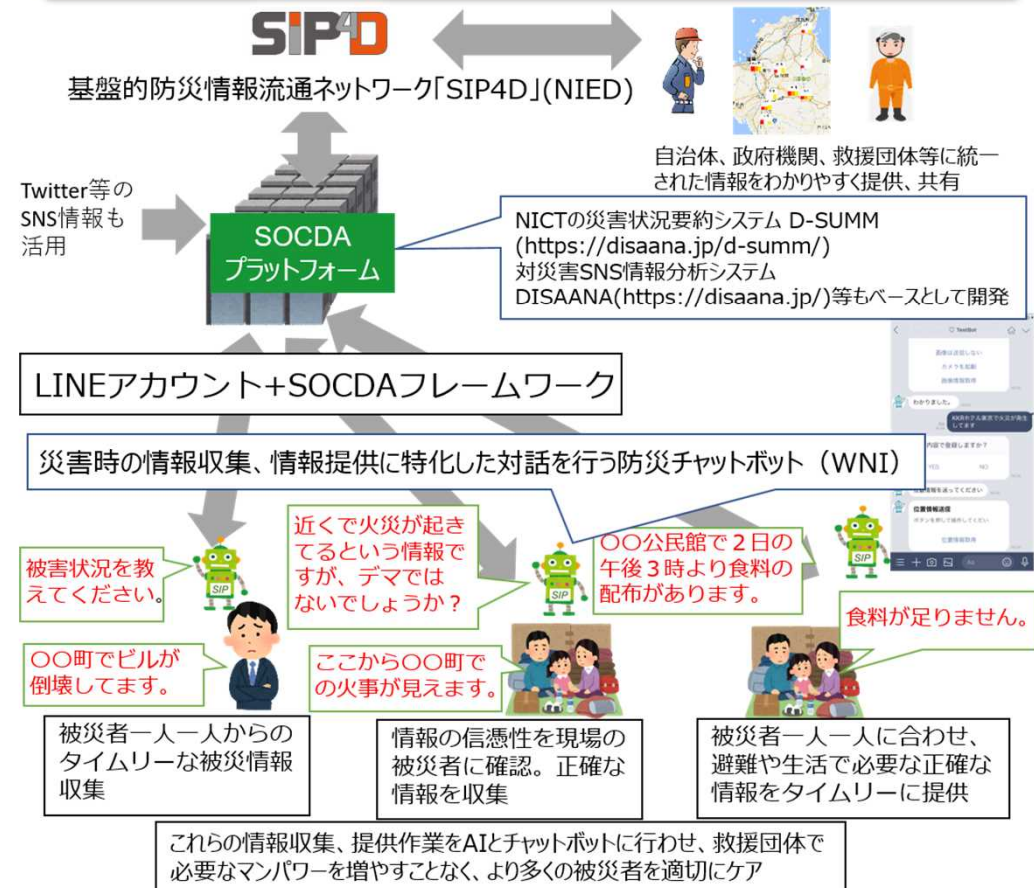




第2期SIP「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」  
 テーマI「避難・緊急活動支援統合システムの研究開発」  
 における研究開発項目  
**「対話型災害情報流通基盤の研究開発」**（共同研究機関：防災科研、情報通信研究機構）にて防災チャットボット及びSOCDAを開発しています。

巨大災害時の避難・被災者支援において、AIとチャットボットが国民一人ひとりに寄り添い、助ける社会を目指します

- 被災者一人一人から正確な情報を収集し、被災状況や支援ニーズをマイクロレベルで把握し、政府機関、救援団体等で共有
- 被災者一人一人にそれぞれに合わせた正確な情報を提供し、避難や生活支援をマイクロレベルで適正化、効率化
- 自治体、救援団体で常にリソースが不足する救援活動の効率化



# AI防災協議会を設立 (2019年6月18日)

## ウェザーニューズは LINE や自治体と共に「AI 防災協議会」を設立 ～対話型災害情報流通基盤システム“防災チャットボット”の社会実装を推進します～

- ①情報収集/提供    ②情報深掘り    ③情報精査/表示    ④情報マッピング/表示    ⑤判断/指示



# 未来型AI防災チャットボット特徴

## ①特徴 (想定例)

### 1. SNS型災害状況投稿・共有機能 (共助支援)

災害時に身の回りに起こる災害事象(火災, 家屋倒壊, 冠水, 倒木, etc)の投稿をDB化し、**利用者間で共有**する

### 2. AIによる個別最適自動応答 (自助支援)

災害時の利用者の位置情報等により対応をAIを用いて**個別最適化**して支援する。  
自助支援により、災害時の対応を省力化・各個人にとって最適化できる

### 3. 公的機関から特定地域・利用者へのPush通知(公助支援)

### 4. 公的機関での情報収集支援 (公助支援)

## ②利用者側端末想定

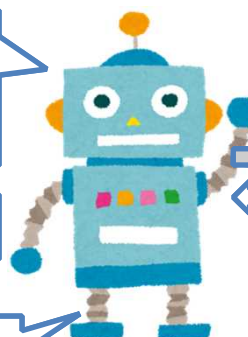
- ・スマホ (LINE等), タブレット等
- ・AIスピーカー



銚子沖10Kmを震源としたマグニチュード7の地震が発生しました

近くに避難所はある？

近くに〇〇小学校があります。



## 情報ソース(例)



国・市区町村が保有し提供可能な情報



WNIが保有した情報  
(例 地域別のハザードの場所, 避難所や気象予測情報)



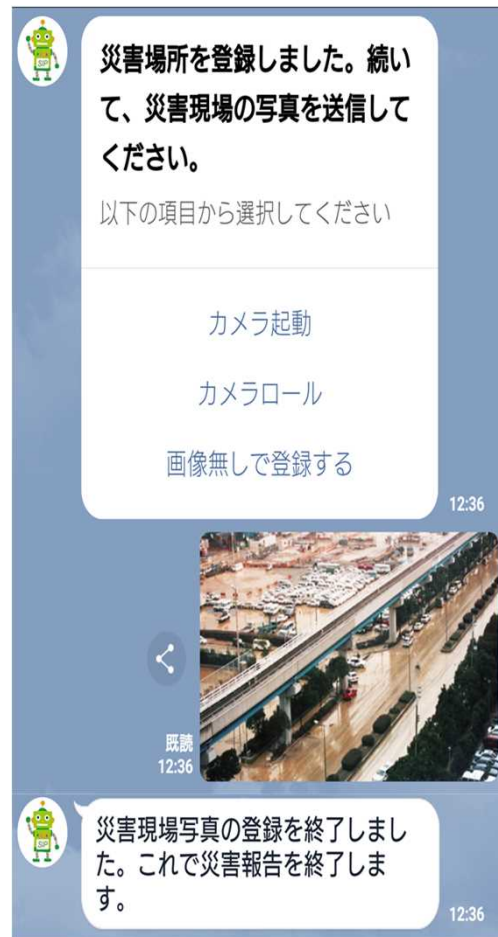
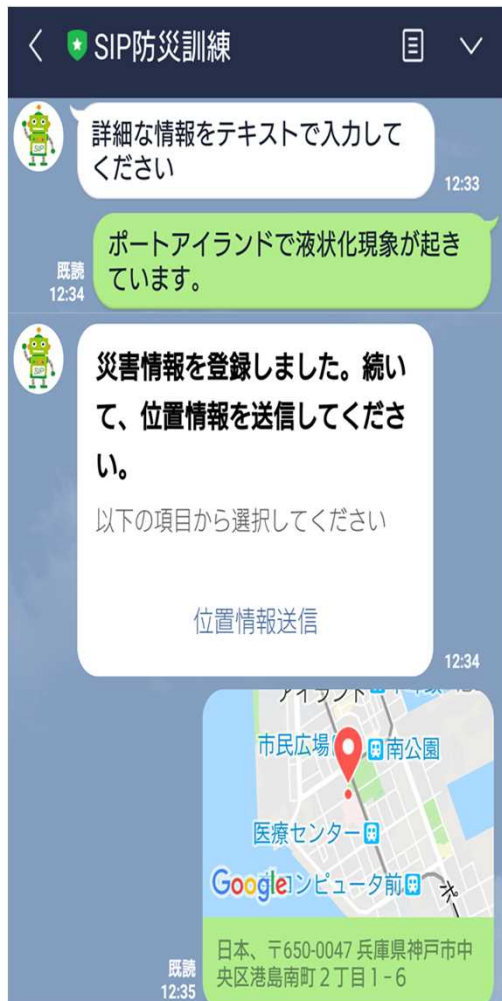
SIPで保有し活用可能な情報



SNS(Twitter, Line等)で取得され抽出された情報



# 具体的な利用イメージ



〇〇小学校に避難しています。

不足している物資はありますか？

飲料水が不足しています。

一日後…

飲料水はまだ不足していますか？

はい。給水車はどこに来ますか？

本日13時に〇〇公民館へ給水車が向かいます。

# 具体的な利用イメージ

“Confidential”



〇〇小学校に避難しています。

不足している物資はありますか？

飲料水が不足しています。

一日後…

飲料水はまだ不足していますか？

はい。給水車はどこに来ますか？

本日13時に〇〇公民館へ給水車が向かいます。

AIでチャットボットとの対話内容を地図上に集約

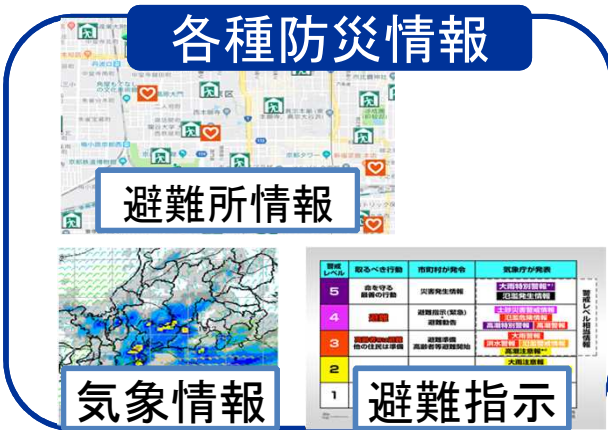
AIで利用者一人ひとりに最適化した情報を提供



クリックで投稿内容を閲覧



神戸市での実証実験



各種防災情報

避難所情報

気象情報

避難指示